



YNU Connect A community for alumni, students, faculty, staff and friends of Yokohama National University

横浜国立大学 校友会 会報

vol.07

# 校友会会報誌「ALL YNU」第7号

横浜で学び、  
横浜から飛び立つ



## 価値観・行動様式を変革し、 困難を乗り越え前進しよう！

### 宮田芳文 横浜国立大学校友会 会長

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、大半がオンラインの授業となり、学生同士の交流も大幅に制限されている状況で「こんなはずじゃなかった」と落胆・困惑している教職員や学生の皆さんが大勢いることと思います。従来の価値観・行動様式を大きく変えていかなければこの危機は乗り越えられません。

校友会は、全ての同窓会と連携し、学生の皆さんの経済的支援を大学に協力して実行していきます。また産業界と連携し、大学のブランド価値を高めるための研究や活動を支援することで、皆さんがこの困難を乗り越え社会で活躍していけるよう様々な活動を通じて貢献していきたいと考えております。



MIYATA Yoshifumi

福岡県出身、1978年横浜国立大学経済学部卒業、2009年第一生命保険株式会社常務執行役員、2012年資産管理サービス信託銀行代表取締役副社長就任、2018年退任、2018年ウェルネストコミュニケーションズ社外取締役、2021年持田製薬社外監査役



UMEHARA Izuru

1962年生まれ。1987年富山大学理学部卒業、1989年富山大学大学院理学研究科修士課程修了、1992年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。2000年横浜国立大学工学部助教授、2009年横浜国立大学大学院工学研究院教授、2019年横浜国立大学理事・副学長、2021年横浜国立大学長

## 知の統合で世界水準の研究大学の実現を

### 梅原 出 横浜国立大学 学長

令和3年4月1日より横浜国立大学長に就任しました梅原出です。専門は物理学です。どうぞよろしくお願いいたします。本学には、人文系、社会系、理工系などの先端的な知がOne Campusに集積され、機動的に活動ができる優位性があります。これら、知を統合することで、世界水準の研究大学を目指します。このことを、教職員はもとより、在校生、卒業生、修了生と共有し、前に進みたいと強く願っ

ています。教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部の5学部、教育学研究科、国際社会科学府、理工学府、環境情報学府、都市イノベーション学府、先進実践学環の6大学院が一丸となって、横浜・神奈川から世界へ発信してまいります。研究と教育は大学の両輪であり、国際性・地域性・ダイバシティなどはそれを支える車軸です。YNU校友会とともに、しっかり回してまいりたいと願っています。

## 横浜国立大学基金 ご協力をお願い

卒業生・保護者の皆様からのご支援が、  
本学を通して、地域と世界の未来を創ります。  
ぜひあたたかなご寄附を、よろしくお願いいたします。

横浜国立大学基金では、次に掲げのご支援をお願いしております。

- 新型コロナに関する緊急学生支援寄附金へのご支援
- 経済的理由により修学困難な学生へのご支援
- 若手研究者へのご支援
- 学生の国際交流促進、留学生へのご支援
- 課外活動へのご支援など



横浜国立大学基金  
YOKOHAMA National University Fund

お問い合わせ先  
横浜国立大学  
卒業生・基金室

TEL : 045-339-4443  
FAX : 045-339-3179  
E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp



スマートフォンからも  
申し込みいただけます。

- 2 校友会会長・学長 メッセージ
- 4 コロナ禍の学生生活について
- 6 校友会活動のご紹介

【学生支援】

地域実践アワード  
-Withコロナ時代の  
地域課題実習-



キャリア教育

キャリアサポの紹介

【就職活動支援】

「OB・OGによる  
模擬面接会」開催

「横浜経営者の会による  
模擬面接会」開催



キャリア・  
アドバイザーの派遣

8 YNU卒業生からのメッセージ  
～コロナ禍で変化した仕事について～

- 小澤 美希さん (神奈川県立大船高等学校 教員)
- 保坂 純一郎さん (アルチップ・テクノロジーズ・リミテッド日本法人 代表取締役)
- 山本 真実子さん (有限責任監査法人トーマツ 公認会計士)
- 狐崎 進吾さん (信越エンジニアリング株式会社)
- 佐藤 響子さん (神奈川県教育局学校事務センター 報酬課)



10 部活動・サークル等紹介

- ・陸上競技部
- ・硬式野球部
- ・水泳部

11 校友会からのご報告 令和2年度活動・決算報告／校友会総会のお知らせ

12 WEB会員登録／ホームページのお知らせ

学生幹事会Seagullsの活動

学生の、学生による、学生のための組織

多くの学生は学部・サークル内の関わりが中心となっています。しかし学生と本学の更なる成長のためには、学部や社会人といった壁を越えた、学生による主体的な交流が必要となります。そこで「学生の、学生による、学生のための組織」として学生幹事会Seagullsが2016年3月に立ち上がりました。Seagullsでは、「新入生歓迎会」「YAC」「若手社会人と学生交流会」の企画・運営を学生主体で行っ

ており、学部を超えた交流とYNUのブランドアップを目指し活動しております。コロナ禍の現在でもミーティングを行い何か出来ないかと試行錯誤しております。既存企画の改善や新規企画の発案など、YNUをよりよくしたいと熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所がSeagullsにはあります。これを読んだあなたも我々と一緒にYNUを改革しませんか？



幹事募集中!!

Seagullsでは校友会の活動を一緒にサポートする学生幹事を募集しています。幹事一同大歓迎ですので、ご連絡お待ちしております。

連絡先 MAIL : koyukai@ynu.ac.jp  
電話 : 045-339-3177

# コロナ禍の学生生活について

横浜国立大学では、感染防止策を講じて学内の安全・安心な環境を整えた上で、可能な限り対面授業を実施しています。また、対面で実施することが困難な科目等は、遠隔との併用などにより実施しています。なお、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、本方針を変更する場合があります。

## 新型コロナウイルス関連の本学独自の学生支援（令和3年度）

- **横浜国立大学緊急学修支援事業(YNU E-SSUP)**
  - ・生活支援奨学金(経済的に困窮する学生に対して生活費等の一部を支援)
  - ・外国人留学生の移動支援(自主隔離期間中の滞在費の一部を支援)
- **特別授業料免除制度(新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯の学生に対する支援)**

## オンラインを逆手に総合優勝

教育学部4年 大原 未楠 OHARA Minami

感染症拡大を受け、私の大学生活にも多大な影響がありました。最も苦労したのは部活動です。1回目の緊急事態宣言時には約3ヶ月間の部活動自粛要請を受け、今まで通りの練習ができなくなったことに加え、記録会や試合などが軒並み延期・中止となりました。陸上競技部の主将として、日々の練習時の感染症対策や試合参加時の細かい規則など手探りで考え直しました。

また、体育会系部活動の責任者同士で声を掛け合い、Zoomを用いて活動再開に向けた取り組みや自宅でのトレーニング法などについて意見交換し、新入生向けにはオンラインで合同説明会を行いました。

部内では、室内での筋力トレーニング、坂や階段を利用したトレーニング、普段は話す機会のない個々の目標や陸上への向き合い方、試合時のメンタルコントロール方法



(向かって左端の青い服が大原さん)など、幅広く意見交流する機会も設けました。その甲斐あってか、「国公立大学対校陸上大会」では2010年以来の総合優勝を果たすことができました。離れた地でトレーニングを行う仲間がいると再認識することで、モチベーションを高く保てたことが良い結果につながったのだと思います。

## 塾の遠隔授業導入で一丸に

経済学部4年 吉村 啓 YOSHIMURA Hajime

新型コロナウイルスによって、学業、アルバイト、就活すべてが通常とは違う中で進行していきました。一番印象的だったのは塾講師のアルバイトで、一回目の緊急事態宣言が発出された際に、急きょ、次週からの教室の運営を遠隔授業で行うことが決まったことです。講師と社員の垣根を超え、一丸と

なって、当時は全くなじみのなかったZoomの設定や動作確認、画質、授業方法のルール決めなどを行いました。効率的かつ質の高い授業を提供するため、みなで真剣に困難に立ち向かっている感覚があり、とても有意義な経験になりました。

また、「場」の持つ重要性を再認識したこともよかったです。オン



(丸い顔写真が吉村さん)ラインを通じたゼミでは研究に深みが出ないという問題点がありましたが、時間外にゼミ仲間で行ったコミュニケーションが研究のヒントになることがあり、学生交流の重要性を再認識しました。

## 個人参加のスキー大会で奮闘

経営学部4年 鈴木 宏一郎 SUZUKI Koichiro

新型コロナウイルスの影響により、大学の授業のほとんどがオンラインとなり、アルバイト先の塾も同様でした。当初はもどかしさを感じていましたが、Zoomを用いてオンラインで話すことに慣れる中、対面と同様の楽しさや喜びを感じるようになりました。塾講師の際、オンラインでも自分の意見をしっかり伝えたり、相手の様

子を把握するなど工夫しました。こうした経験は就職活動で役立ちました。インターンや面接はオンラインが中心でしたが、それにうまく対応できたのは、この経験があったからだと思います。また、所属する体育会スキー部の活動が昨年度は1年間全面停止になってしまいました。しかし個人練習に専念し、毎年、スキー部で参加し



ていた「全国学生岩岳スキー大会」に個人で参加し、アルペン男子大回転で7位になりました。

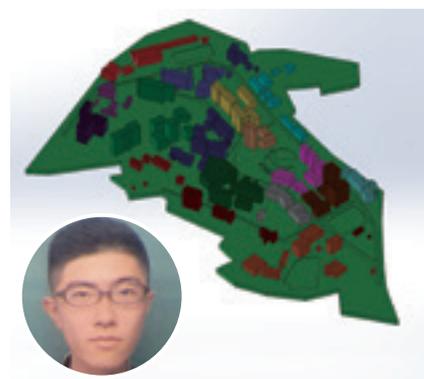
## オンライン交流会で友人獲得

理工学部2年 端山 健太 HAYAMA Kenta

実験を除いた全ての科目をオンラインで受講しました。バドミントンやサイクリングのサークルの活動は1年間休止し、大学の友人と会う機会もほとんどありませんでした。このため、私は主に2つの工夫を心掛けました。

1つ目は、Zoomを使ったオンライン交流会に積極的に参加したことです。課題をやる際にも「通話し

ながらやらない？」と周囲に声をかけた結果、予想以上に多くの友人を得ることができました。2つ目は、“ROUTE = Research Opportunities for Undergraduates”に参加したことです。これは理工学部の1年生から3年生が最先端の研究を体験できるプロジェクトです。私は「マルチマテリアル3Dプリンティング技術の開発と応用」=写真=をテーマ



に、丸尾 昭二教授の下、研究体験をしました。高度な研究を大学の施設で経験できたことで、モチベーション向上につながりました。

## コロナ禍の影響調査で気付き

都市科学部3年 二見 悠稀 FUTAMI Yuuki

コロナ禍のため昨年度の授業はオンラインになり主にZoomを用いる形式でした。上手くコミュニケーションが取れなかったことがありましたが、社会分析スタジオの課題が出たことで、「新型コロナウイルスの影響による車椅子利用者の働き方の変化について」というテーマを設定し、Zoomで聞き取り調査を行いました。

兵庫県や栃木県に住んでいる車

椅子の方々と話すことができ、車椅子利用者はタイヤなど様々な部分を触るため感染リスクが高いことや元々移動に困難があるためウェブ環境が整っている人が多いことなど意外な事実を知ることができました。

今年度から多くの対面授業が再開したことで、スタジオ仲間や先生と、実際に「会える喜び」を実感しています。同じ会話でも対面だ



と「場の空気感」を共有でき、会話のテンポも取りやすいので、対面が続いてほしいです。

# 学生支援

## 地域実践アワード

### — With コロナ時代の地域課題実習 —



2020年度の地域実践アワードは、テーマを「With コロナ時代の地域課題実習」と題してオンラインにて開催しました。第1部では地域課題実習における1年間の活動発表を行った結果、「みなとまちプロジェクト」がMVP賞に選ばれました。第2部では、パネルディスカッションとして、大学院副専攻プログラムの「地域創造論」のグループワークを踏まえて、「With/After コロナ時代の地域像」について、発表しました。



## キャリア教育

(横浜経営者の会、同窓会が協力)

キャリア教育、グローバル人材育成、学部横断的講演会を通じて、ALL YNUの力で学生を社会へ、世界へ。

1年次	ビジネスの基本を体感する	まなび座	自分たちで問題をみつけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛えます	
全学年	貴重な体験談等からグローバル世界への対応の基礎を学ぶ	グローバル化と日本人	海外勤務経験者もゲスト講師に、異文化理解とコミュニケーションを学ぶ	
2年次以上	トップ経営者による講義	グローバルビジネス実践論	主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる実践講義	
全学年	早くから広く社会を知る	経営者が語る これからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	トップ経営者が学生に直接、企業経営について語る貴重な機会	
全学年	早くから広く社会を知る	5学部と校友会共催の講演会	視野を拡げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に	

## キャリア・サポートルームの紹介

きめ細やかなキャリア・就職支援

まずは  
キャリア・サポート  
ルームへ  
お越しください!

キャリア・サポートルームでは、会社案内、求人票、会社四季報など就職に関する刊行物、日本経済新聞、ビジネス誌などを取りそろえています。また、インターンシップ情報、OB・OG名簿の閲覧、公務員関係資料なども収集できます。さらに、キャリア・アドバイザーによる就職相談(予約制)も行っていますので、就職活動で悩んでいることがあったら、気軽にお立ち寄りください。



### 就職サポート内容 (上記の他に)

- 就職支援行事の開催
- 先輩方の進路状況の閲覧
- 学外就職イベント情報の入手
- アプリ、Twitterでの情報発信



就活アプリ  
iPhoneの方



就活アプリ  
Androidの方



Twitter





## 就職活動支援

(横浜経営者の会、同窓会が協力)

校友会は横浜国立大学、同窓会及び横浜経営者の会等と協力して、1年次から4年次の就職までの道のりをしっかりサポートします。劇的に変化するこの時代、大学で身につけた力を社会で発揮するためには、早くから先輩や学外の方の講演や話を聞いて広く社会を知り、先輩方との交流も経験して、自分が納得した進路を目指すことが大切です。個別就職相談、模擬面接など多くのメニューを用意しています。



## OB・OGによる模擬面接会開催

(校友会・同窓会・大学 オンライン共催)

本年も学生の就活応援の為、模擬面接会(6回目)が2021年1月23日にオンラインで各同窓会と大学(キャリア・サポートルーム)の共催で行われました。学生の参加は約70名で、面接官は横浜国大OB・OG30名が自宅等や海外からオンラインで参加しました。

学生や面接官もオンラインでの面接に不慣れなところはありましたが、face to face面接の本番と変わらない雰囲気の中、学生も懸命に自己PRをしていました。面接の後、面接官より学生に対し丁寧なfeed backが行われ、学生は面接力を強化することが出来ました。



## 横浜経営者の会による模擬面接会

2020年12月18日(金)に横浜経営者の会と横浜国立大学及び校友会の共催で対面での模擬面接会が開催されました。

午前の部・午後の部の2回開催され、横浜経営者の会からは14社が参加し、学生の参加も31名ありました。

終了後の学生へのアンケート調査では、「とても有意義だった」との評価を得ました。ご協力いただきました横浜経営者の会に感謝いたします。



## キャリア・アドバイザーの派遣

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在WEBにて実施

同窓会は、就活支援のために各業種で採用・営業・企画など経験豊富なOB・OGをキャリア・アドバイザーとして大学に派遣しています。

個別就職相談は、1回45分、1対1で学生の相談にのり、年間を通して様々なアドバイスや面接指導、エントリーシートの添削を行っています。



## ～コロナ禍で変化した仕事について～

コロナ禍で本学卒業生の仕事や業務にも大きな影響がありました。各界で活躍する卒業生のみなさんから、働き方の変化や現状の報告、後輩へのアドバイスなどを寄せてもらいました。

### つながりと達成目標が教師の芯

私は、自分の成長に大きく影響した学校生活や陸上競技を通して神奈川県に恩返しをしたいと思い、保健体育教員になりました。生徒と互いに目標を細かく設定し、達成のための努力を継続することや達成の喜びを分かち合うことが私の教員としての芯(軸)となっています。

コロナ禍で学校生活や学習・進路への不安、部活動では目標とする試合がなくなり、生徒だけでなく同僚も肩を落とす姿を目にしました。この状況の中で、本校ではGoogle classroomを活用したコミュニケーションを導入、学びの継続を図るために試行錯誤してきました。学習課題や情報伝達を日々生徒とやりとり

し、どのように努力を継続するか、新たな目標を設定して前進し続けるかを生徒と共に模索してきました。コロナ禍の先行きが見えにくい中、自身の教員としての芯を忘れずに生徒と共に努力を続けたいと思います。

学生のみなさん、困難なこともあるかと思いますが、自分の芯を見極めながら学びを続けてほしいと思います。今の自分を形作っているのは、恩師や仲間との出会いから得た経験です。感謝の気持ちや今の学び、経験がこの先に必ずつながっていくことと思います。



神奈川県立大船高等学校  
教師、保健体育担当

**小澤美希さん**  
OZAWA Miki

2010年、教育人間科学部卒。中学以来、高校、大学と一貫して陸上競技に打ち込んだ。

### 環境整備でエンジニア大半入社

社員30名程度の外資系半導体関連サービス企業で働いています。従業員の半分以上が半導体エンジニアです。当社の顧客データは秘匿性が高く、専用のワークステーションやネットワーク内での作業が必要で、物理的に入社しないと業務が遂行できないことが多くあります。このため、現在は感染対策に配慮した上でほとんどのエンジニアが入社しています。

一方、顧客や外部とのコミュニケーションはほとんどリモートで対応しており、事務職や営業職向けにリモート会議用のスピーカーを追加購入す

るなどしました。社内は元々個人のブースが全てパーティションで仕切られており、オフィスでの感染リスクは小さいです。入社時間もフレックス制を導入し混雑時を避けて通勤してもらっています。オフィス環境や対策を整備すれば、必ずしも働き方を変える必要はないのでは、と感じています。学生のみなさんは、コロナ禍における学業、諸生活、就職活動など苦慮されていると思いますが、夜明けは近いはずですよ。頑張ってください。



アルチップ・テクノロジーズ・  
リミテッド日本法人 代表取締役

**保坂純一郎さん**  
HOSAKA Junichiro

1988年、経済学部卒。いったん証券会社に就職後、3年目に半導体業界に転じた。文系OB・OG会「富丘会」理事。

## リモート監査にもやりがい

公認会計士を目指したのは、大学の会計情報学科の講義で初めて簿記を習い貸借がぴったりとあった爽快感に魅せられ、将来の仕事としたいと思ったことがきっかけです。

コロナ禍以前はほぼ毎日クライアントへ往査する日々が続いていましたが、コロナの影響で在宅ワークが9割、クライアント往査が1割となり、ほぼリモート監査を行う勤務形態になりました。現在は対クライアントとのコミュニケーションにあたる際、対面に比べてコミュニケーション

不足とならないよう心がけています。監査チームでは毎日Zoomミーティングで朝会を行い、メンバー全員がその日に実施するタスクや今悩んでいる課題の共有や対応を検討しています。クライアント担当者にもZoomの画面共有機能で資料をみながら、考え方の相違が起らないように心がけています。

公認会計士は1年目から専門家としてクライアントへ指導を行い、管理職や役員の方々と関わる経験ができます。自分が誤りを見逃してしま

うと大きな影響となり責任は重いですが、その分やりがいもあります。経営学部の講義で簿記に興味を持たれた方はぜひ目指してみてください。



有限責任監査法人  
トーマツ  
公認会計士  
**山本真実子さん**  
YAMAMOTO Mamiko

2016年、経営学部卒。有限責任監査法人「トーマツ神戸事務所」で、上場会社を中心に監査業務を行っている。

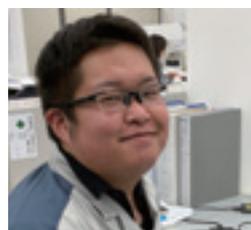
## 学生生活は楽しまなきゃ、損

私が信越化学で働きたいと考えたのは、多くの人の生活を支えられると考えたからです。信越化学はスマホやPCなどに使われているシリコンウエハー、水道管やエコバッグなどに使われている塩ビなど生活になくしてはならない製品で高いシェアを持ちます。私の仕事は研究所や製造現場で使用する装置の開発です。新規技術の導入や製造効率の向上、研究の効率化に繋がるため、この仕事にやりがいを感じています。

コロナ禍においても平日は毎日工場に出社しています。各人に手指の消毒液が渡され、席同士はプラ板で区切るなど対策はしっかりと取り組んでいます。更に、社外の方と会うときはオンライン面談を活用しています。

学生の皆さんはコロナ禍で普段の生活にも大きな変化が訪れていることかと思えます。何か一つでも自分が夢中になれることを見つけてください。そこで得た経験は、就活でも

必ず役に立ちます。私は大学時代EV（電気自動車）を制作、レースに参加したことが今につながっています。学生生活は楽しまなきゃ、損です。



信越エンジニアリング  
株式会社  
システム機器事業部  
**狐崎進吾さん**  
KOSAKI Shingo

2014年、理工学部卒。2020年、理工学部機械・材料・海洋系専攻修了。2020年信越化学工業株式会社に入社後、現職。

## 時差出勤制度を積極活用

大学祭実行委員会で、地域の方々の目線を意識することで、人の喜ぶ企画を作ることができると知り、自分の手でもっと多くの人の生活に喜びを提供したいという思いが就活の軸になりました。福祉、経済、防災など多様な幅の業種に携わることができ、抜本的な社会のシステム作りにかかわれる公務員に魅力を感じて志望しました。

現在は、公立学校職員の給与や社会保険、手当などの申請管理や調整などを担当しています。将来は経済

や観光系の部署でも働いてみたいと思っています。

職場ではコロナ禍にあわせ、時差出勤制度が積極的に活用されています。実際、私の周囲では「早出勤」の同僚が多く、その分、早く帰宅することができるため定時前の職場は寂しいくらいです。例年行われる研修も、日程を分散して密を回避するなどの対策が取られています。業務自体も民間への業務委託やオンライン決済の振興が着実に進んでいるなど、公務員の勤務も変わりつつあります。

感染した場合の福利厚生も充実しているので、将来に迷っている方は、選択肢の一つに県庁を入れてみてはいかがでしょうかでしょう。



神奈川県教育局  
学校事務センター  
報酬課  
**佐藤響子さん**  
SATO Kyoko

2021年、都市科学部卒。秋季試験に合格し入庁。生まれ育った横浜で働けることに満足しています。

大学に課外活動団体として届けている団体は、45の体育系団体と59の文化系サークルです。  
どの課外活動団体も積極的に活動をしています。

### 陸上競技部

<https://www.ynu-tfclub.info>

私たち陸上競技部は短距離、中長距離、フィールド、投擲競技に分かれて活動を行い、記録会や大学対校戦に向けて日々自分と向き合い、練習を重ねています。

当部には全日本インカレに出場するような全国クラスの選手から、学業との両立を図る選手まで幅広く在籍していますが、競技力・種目・学年の垣根を越えた交流と和やかな雰囲気があるのも魅力の一つです。

そして私たちのスローガンは”Piece”です。それぞれの部員がパズルのピースのように欠かせない存在であり、すべてのピースを組み合わせ、陸上部という一つの絵を完成させようという意味が込められています。部員が一つとなり、挑んできた数々の大会やこれからの大会・活動についてTwitter・ホームページなどを通して、ぜひご覧ください。



### 硬式野球部

<https://ynubaseballclub.jimdofree.com>

弊部は1962年に創立し、現在は総勢80名で活動しております。

国大野球部最大の特徴は、学生が主体となった組織作りです。選手の意見を取り入れながら、主将や学生スタッフが、練習メニューや運営方針を立てています。大人に指示されて動くのではなく、学生自らが情報を集め、話し合い、考えながら練習に励んでいます。

今後も、日頃よりご支援いただいている方々への感謝を忘れずに、精進してまいりますので、応援のほどよろしく願いいたします！



### 水泳部

<https://ynust.jimdofree.com>

私達水泳部は、本学の前身校時代を含めて昨年100周年を迎えました。部員は15名前後と少なく、各部員の実力もバラバラではありますが、全員で全力で楽しく練習しています。

本年度は昨年度に引き続き、活動もうまくいかない部分がありますが、全国国立大学選手権への団体出場権獲得を部全体の目標として掲げ、さらに個人としては日本学生選手権への出場、全国公決勝出場などを目標に活動しています。

ルールも少ないタイムを競うだけのシンプルな個人競技ではありますが、仲間とともに高め合ってこそその楽しさがあると考えています。この機会に私たちの活動をSNS等でご覧になっていただければ幸いです。



## 部活動支援

### 学生団体表彰

令和元年度：硬式野球部、水泳部、スポーツチャンバラ翔剣会、トライアスロン部、陸上競技部、弓道部、モータースポーツ部フォーミュラ部門

令和2年度：陸上競技部、スポーツチャンバラ翔剣会

## 令和2年度活動・決算報告

令和2年度事業報告および決算関係書類については、令和3年5月11日(火)に校友会監事4名による監査で、「適切である」との報告を受け、同年6月1日(火)にメールによる理事会および評議員会において承認決議されました。

令和2年度の主な活動は下記のとおりです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となったため、実施事業のみ掲載。

### 1. 入学時(新入生向け)事業

#### (1) 新入生会員用ノベルティーを作成

新入会員に記念品として贈呈する特製バインダー(ロゴ入り)を作成。例年は会員証の発行と併せて学生に渡しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止ため対面授業が行われず、学生が登校できないことから令和2年度新入生には郵送。

#### (2) 『令和3年度入学生向け「校友会・同窓会のご案内」』を作成

校友会、同窓会への入会を促進するためパンフレットを作成し、合格者へ送付。

#### (3) 校友会学事暦カレンダーの作成

学事暦カレンダーを作成し、新入生、在学生の保護者に送付。

### 2. 広報活動事業

#### (1) 校友会会報誌第6号の作成

校友会会報誌「ALL YNU」第6号を作成し、卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者に送付。

#### (2) 校友会業務用情報基盤

ライセンスの更新作業、ドメイン維持費、内臓HDDの増設。

### 3. 学生活動の支援事業

#### (1) 学生による地域課題解決支援事業

学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かうプロジェクトを支援。23プロジェクトに各20,000円を支援。

#### (2) キャリア教育支援

##### ①「グローバル化と日本人」

異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。秋学期にリモートにより実施。

##### ②「グローバルビジネス実践論」

海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いの全学部受講対象専門科目。秋学期にリモートにより実施。

##### ③「連携講座」

YNU横浜経営者の会による連携講座「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」2年次以上を対象に秋学期にリモートにより開講。

#### (3) スポーツ支援プロジェクト

##### ①学生団体表彰

令和元年度に顕著な成績を収めたスポーツ団体等7団体に対し副賞(活動奨励費)100,000円を贈呈。

科目	当年度	前年度	増減
<b>【収入の部】</b>			
1. 会費収入			
・新入会員 会費収入	29,200,000	28,350,000	850,000
2. 雑収入			
・寄附収入	0	200,000	△ 200,000
・受取利息収入	380	378	2
・その他雑収入	1,041,465	1,186,595	△ 145,130
・立替金及び仮払金	237,036	0	237,036
雑収入計	1,278,881	1,386,973	△ 108,092
収入合計(A)	30,478,881	29,736,973	741,908
<b>【費用の部】</b>			
1. 事業費			
・入学時間連事業	4,048,680	5,488,643	△ 1,439,963
・広報活動事業	1,629,280	1,862,957	△ 233,677
・学生活動支援事業	2,628,661	9,311,824	△ 6,683,163
・全会員対象事業	1,059,880	2,568,618	△ 1,508,738
・大学支援事業	10,570,440	6,248,790	4,321,650
事業費計	19,936,941	25,488,832	△ 5,543,891
2. 管理費			
・事務局諸経費	868,217	1,213,721	△ 345,504
・事務局人件費	4,744,566	0	4,744,566
・会員管理費	801,944	641,771	160,173
・減価償却費	64,900	111,262	△ 46,362
管理費計	6,479,627	1,966,754	4,512,873
3. 予備費			
・予備費計	0	0	0
費用合計(B)	26,416,568	27,447,586	△ 1,031,018
収支差額(A) - (B)	4,062,313	2,289,387	1,772,926
期首残高	33,634,394	31,345,007	
期末残高	37,696,707	33,634,394	

(硬式野球部、水泳部、スポーツチャンバラ翔剣会、トライアスロン部、陸上競技部、弓道部、モータースポーツ部フォーミュラ部門)

#### (4) 就職活動支援

横浜経営者の会と大学との合同イベントとして、対面による模擬面接会を開催。

#### (5) 学生用情報伝達モニター(デジタルサイネージ)維持費

令和元年度に設置した機器の維持管理費。令和3年4月より本格的に運用を開始。

#### (6) 美術館・博物館キャンパスメンバーズ

国立美術館(東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館)及び東京国立博物館を学生が無料で利用できるよう年会費を支援。

### 4. 大学支援事業

#### (1) 国大基金への寄附

通常の基金へ4,344,000円の寄付のほか、コロナ過で経済的に困窮している学生への支援のため5,280,000円を寄附し大学を応援。

#### (2) 「横浜国立大学基金ご案内とご寄附のお願い」の作成

大学への寄附を募るパンフレットを作成し、企業、各同窓会、教職員に配布。

## ※横浜国立大学校友会総会のお知らせ

「横浜国立大学校友会総会」は、例年「横国Day」にあわせて開催をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度はオンラインにより開催予定(昨年度中止)のため、昨年度同様に校友会ホームページに報告事項を掲載し、「質問・意見」を受ける方式で実施することにしました。

詳細につきましては、校友会ホームページにて追ってお知らせします。

横浜国立大学校友会事務局

## 横浜国立大学校友会 ホームページ・facebookのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)



▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



横浜国立大学校友会のFacebookページが開設されました。今後は、・校友会のイベント情報・校友会の活動記録・学生生活の様子などを投稿していく予定です。横浜国立大学の学生から保護者の方々、卒業生や教職員の方々など、多くの方に御覧いただきたく、ページのいいね！をどうぞよろしくお祈いします。



▶ <https://ja-jp.facebook.com/ynu.connect/>

## 横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。ご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、  
校友会ホームページのグローバルメニュー  
「会員サイト」→  
右メニュー「サイトへのリンク」を  
クリック



※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

## 横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証及び入会記念品を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しくださるようお願いします。

## 横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第7号

2021年7月30日発行

- 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- 横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会  
連絡先 横浜国立大学校友会 事務局  
TEL : 045-339-3177 FAX : 045-339-3178  
e-mail : koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：常盤台キャンパス建築学棟前

